

草の根技術協力（地域活性型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	ベトナム社会主義共和国
2. 案件名	気候変動に対する強靭性の向上に向けた下水道分野における技術協力
3. 事業の背景と必要性	<p>ベトナム国の中央直轄市の一つであるカントー市は、急激な都市化の進展や人口の急増等により、都市基盤の整備が追いつかず、とりわけ、下水道の整備が不十分である。加えて、カントー市は、世界で最も気候変動の影響を受ける三大デルタに位置するため、浸水被害の発生による道路冠水や家屋の浸水に伴う経済的損失、また未処理下水の公共用水域への排出による衛生環境の悪化や水質汚濁等の都市問題を招き、健全な都市の発展の妨げとなっている。</p> <p>本事業は、福岡市が培ってきた下水道技術や国際貢献・国際協力に関する経験やノウハウを活かし、カントー市の「浸水対策」や「水環境の改善」に繋がる技術協力をを行い、持続可能で健全な都市の発展とカントー市民の安全・安心なまちづくりに寄与するものである。</p>
4. プロジェクト目標	カントー市の持続可能な下水道行政の運営に必要な能力（下水道管の整備計画の立案能力・既存下水処理場の効率的な運転管理能力・市民啓発活動能力）が向上する。
5. 対象地域	カントー市
6. 受益者層	カントー市建設局の職員（DOC）、カントー市上下水道公社の職員（WSSC） カントー市民（約18.7万人）
7. 生み出すべき アウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 2028年12月までに、モデル地区において、習得したノウハウや知識を用いて整備計画案が作成される。 2028年12月までに、マニュアルに基づく効率的な維持管理が開始される。 モデル地区に居住する市民を対象としたアンケートの回答者の50%以上が、下水道の効果と必要性について理解している。 <p><主な活動></p> <ol style="list-style-type: none"> カントー市の整備計画や維持管理の現状と課題を分析し、計画作成に必要な知識を習得してモデル地区を選定するとともに、整備計画や維持管理の必要性を理解するためのセミナーを実施する。 整備計画や維持管理に関する技術指導や現場実習を通じて必要性を理解し、マニュアル（手引書・手順書・点検項目等）を作成する。育成されたDOC職員等は、マニュアルに基づくセミナーを実施し、モデル地区での計画立案や維持管理を進める。また、福岡市は下水道維持管理等に必要な日本企業が有する製品や技術の活用事例に関する研修を行う。 カントー市の市民啓発に関する現状と課題を分析し、ワークショップを通じてDOC職員の理解を深めたうえで、効果的な啓発計画を立案・実施する。また、市民へのアンケートによる意識調査を実施し、効果的な計画とする。
8. 実施期間	(西暦) 2025年12月～2028年12月 (3年0ヶ月)
9. 事業費概算額	55,000千円
10. 相手国側実施機関	カントー市建設局（DOC）及びカントー市上下水道公社の職員（WSSC）
II. 団体の概要	
1. 実施団体	福岡市
2. 主な活動内容	<p>2021年7月 福岡市主催の「アジア太平洋都市サミット」にカントー市が初参加</p> <p>2023年4月 国交省「下水道分野における本邦優位技術の普及方策に係る調査検討業務」</p> <p>2023年10月 カントー市は、福岡市に対し、気候変動に対する強靭性の向上に向けた下水道分野の技術協力の要請</p> <p>2025年7月 福岡市とカントー市との相互協力に関する覚書の締結 (下水道分野及び経済分野の交流)</p>